

ANAグループのESG経営

ANAグループを取り巻く社会環境

世界では地球温暖化などの気候変動やエネルギー資源の不足、海洋プラスチックごみの増加、貧困、児童労働などの様々な社会課題があり、それらの対策を政府・自治体だけでなく企業にも求める動きが加速しています。パリ協定で定められたCO₂排出量の削減目標や2030年までに達成を目指す世界共通の目標であるSDGsなどがその一例です。

特に昨今では、気候変動問題がグローバルに注目されており、CO₂は地球温暖化の原因の一つと考えられています。航空輸送を事業の中核とするANAグループは、航空機の運航により排出するCO₂の削減など、事業活動が環境や社会へ与える影響への対応が求められています。また、航空運送事業は自然災害やテロ、感染症拡大など外的要因の影響を受けやすく、地球環境や社会情勢の安定を図ることが事業運営において重要となっています。

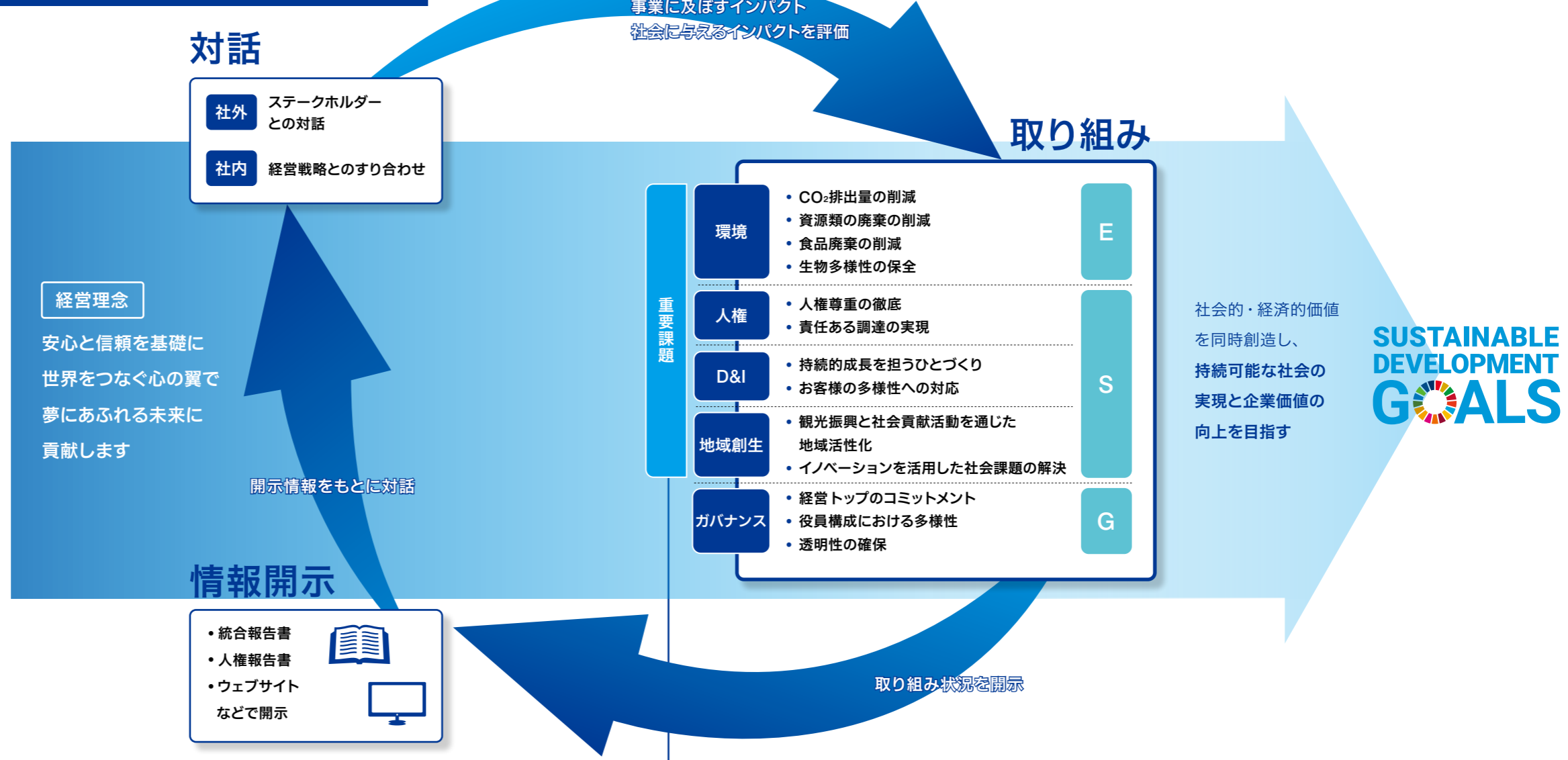
持続的成長のための「ESG経営推進サイクル」

ANAグループでは取り巻く環境を理解した上で、将来にわたり社会から必要とされ、企業として持続的に成長し、価値を生み出し続けるためにESG経営を推進しています。

ステークホルダーとの対話から社会要請を把握し、経営戦略とのすり合わせを行った上で事業や社会におけるインパクトを評価し、取り組みに反映しています。取り組み状況は随時ウェブサイトなどで開示するとともに、開示情報をもとにステークホルダーと定期的に対話し、進捗状況の報告や取り組みの妥当性を確認しています。

このように「対話」「取り組み」「情報開示」のサイクルを回すことでESG経営を推進し、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指していきます。

ANAグループのESG経営推進サイクル

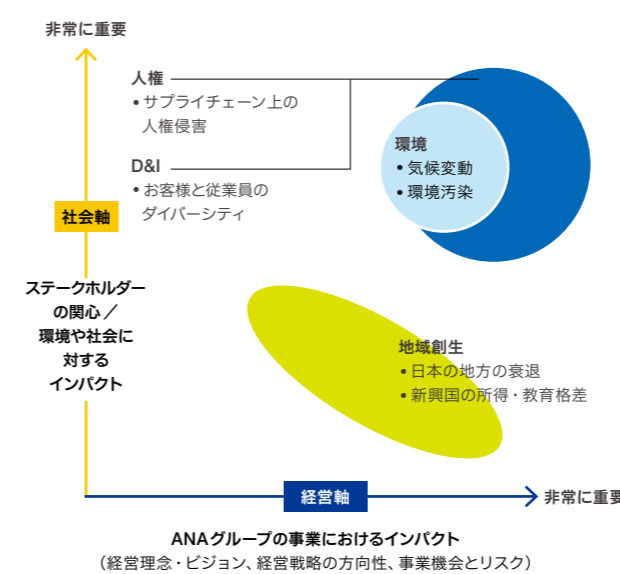


ESG経営におけるANAグループの重要課題

私たちは、ステークホルダーとの対話から把握した社会の要請を経営戦略とすり合わせた上で、事業や社会に与えるインパクトを評価して4つの重要課題を特定し、事業活動を通じた解決に向けて取り組んでいます。

重要課題は、2015年度に「環境」「ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)」「地域創生」を特定した後、2016年度に「人権」を追加しました。これら4つの重要課題は、2019年度にESGにかかわる中長期目標を策定するにあたり、有識者との対話や経営レベルでの議論を通じ、引き続きANAグループにとっての重要課題であると確認しています。

重要課題のマトリックス



重要課題とした理由

		ANAグループにとって	社会にとって
環境	P54	<ul style="list-style-type: none"> 燃油費の抑制 将来の排出権取引のコストの抑制 環境リスク回避による評価の維持・向上 	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の低減
人権	P58	<ul style="list-style-type: none"> 人権リスク回避による評価の維持・向上 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重社会の実現
D&I	P60	<ul style="list-style-type: none"> 新規需要の創出による収益力向上 課題解決型サービス提供による顧客対応力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 共生社会の実現
地域創生	P64	<ul style="list-style-type: none"> 新規訪日需要の創出による収益力向上 国内線事業の収益性の維持・向上 国際線事業の収益拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済の活性化 国際交流の促進